

(仮称) 百舌鳥・古市古墳群を活用した地域活性化ビジョン (素案)

策定の目的と位置付け

【目的】

大阪府、堺市、羽曳野市及び藤井寺市は、世界文化遺産登録をめざし、古墳群の保存・継承に向けた検討や、情報発信・魅力創出に取り組んでいる。この機に、百舌鳥・古市古墳群を活かした地域活性化に向け、行政、地元住民、民間事業者、NPO等が取り組む目標や方向性を共有し、各々が主体的に取り組むことをめざす。

【位置づけ】

府及び3市の総合計画・まちづくり計画と整合を図る。

百舌鳥・古市古墳群を取り巻く状況

【歴史的背景】

古墳時代：巨大古墳が集中して築造
 飛鳥～奈良時代：権威や権力のシンボルが古墳から寺院へ。
 平安～室町時代：古墳の濠が溜池に使用され始め、城や砦としても利用
 江戸時代：古墳の多くが村の共有財産として薪炭利用
 明治以降：巨大古墳の多くは国が管理

【古墳群の立地と土地利用の概要】

古墳群周辺は主に住宅地利用（幹線道路・駅周辺は商業利用）
 大規模緑地（百舌鳥）や農地（古市）が点在

【社会的背景】

人口：各市総じて少子高齢化・世帯の細分化が進行
 交通：大阪都心からの鉄道アクセスが良好（40分程度）
 阪神高速や西名阪のインターチェンジがあり、広域アクセスも良好
 産業：百舌鳥・古市古墳群をはじめ、近隣に歴史的文化遺産が多数
 地場の農産物から生まれた特産品や名品も多い



【活性化に向けた地域の現状整理】

- 豊かな地域資源
- 良好な交通アクセス
- 少子高齢化の進行
- 地域の結びつきの希薄化
- 個性豊かな空間の減少

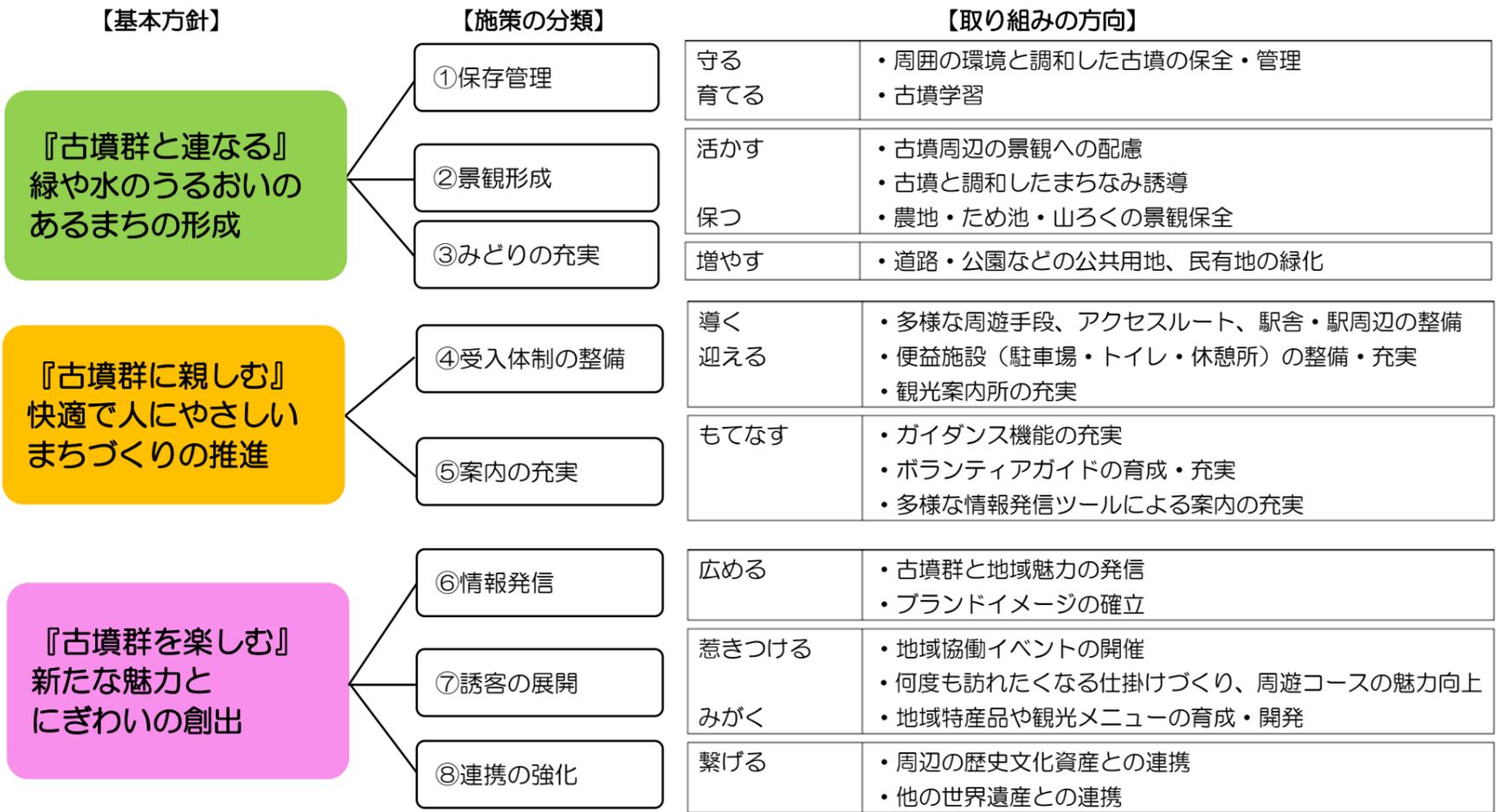
将来像と基本方針・施策の分類

【将来像】

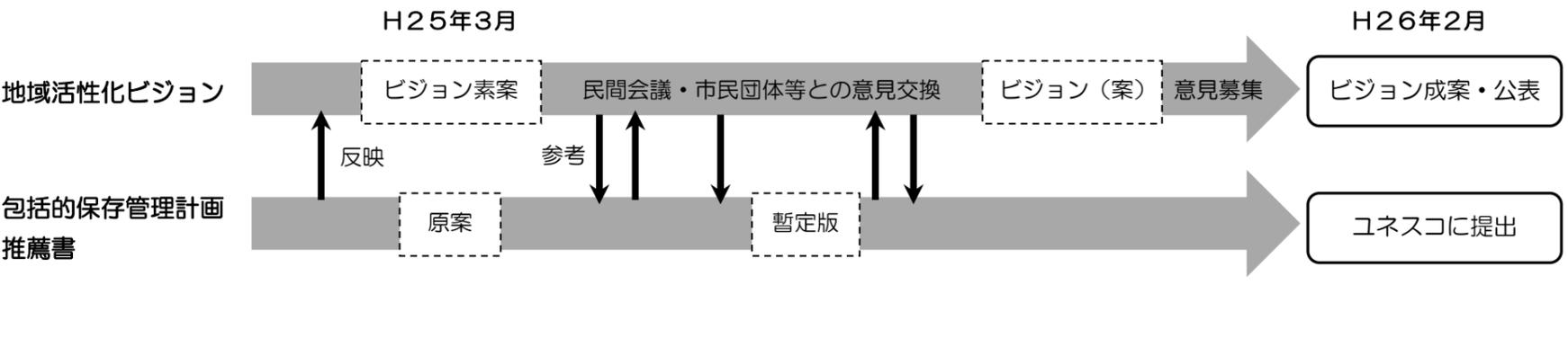
いにしえから現代、そして未来へ

世界に誇る百舌鳥・古市古墳群とともに輝くまち

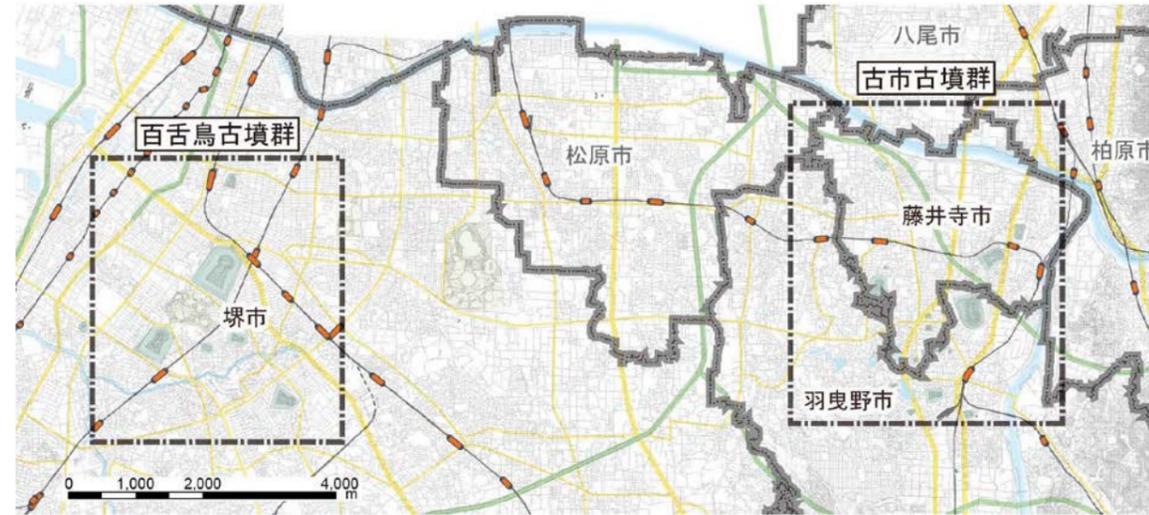
古墳群の比類のない価値や魅力を守り活かすことで
 “都市空間”、“地域魅力”、“人”が輝くまち、
 “世界から注目される輝くまち”
 をめざす



今後のスケジュール



【ビジョンの対象範囲】



【古墳群周辺の航空写真】



現在考えられる主な取り組み例

古墳群と連なる緑や水のつながりのあるまちの形成

【古墳を守る活動】



- ・地域住民と行う清掃・美化活動

【古墳の価値を学ぶ】



- ・古墳学習

【道路・公園など公共用地の緑化】



- ・古墳と連続するみどり空間を創出

【古墳と調和したまちなみ誘導】



- ・古墳等の歴史的景観、ため池・山なみ等の自然景観と調和した景観形成

【古墳周辺の景観への配慮（高さ・屋外広告物等）】



- ・都市計画手法や景観法等の活用による高さ制限
- ・景観に配慮した屋外広告物の誘導

【古墳の保存管理】



- ・包括的な保存・管理計画の作成による適切な保全
- ・周濠の水質改善
- ・都市の「オアシス」として相応しい環境の整備
- ・地域での売り上げの一部を古墳の保全活動に充当する仕組みの構築（地域還元型自動販売機の設置等）

【農地・ため池・山ろくの景観保全】



- ・面的にみどりが繋がる景観形成

【民有地の緑化】



- ・民有地の緑化によるみどりの創出

古墳群に親しむ快適で人にもやさしいまちづくりの推進

【ガイダンス機能の充実】



- ・既存の歴史文化施設の充実（展示・解説等）

【多様な情報発信ツールによる案内の充実】



- ・案内マップを作成・配布

【アクセスルートの整備】



- ・各古墳を周遊するルートの設定
- ・来訪者に分かりやすい誘導案内
- ・電車・バスでの車内案内等の充実

【駅舎・駅周辺の整備】



- ・古墳群のあるまちとして相応しい駅舎・駅周辺の整備

【便益施設（駐車場、トイレ、休憩所等）の整備・充実】



- ・既存の施設を活かし、場所・ニーズに応じた整備
- ・衛生管理の徹底
- ・ユニバーサルデザインの配慮

【ボランティアガイドの育成・充実】



- ・ボランティアの育成
- ・ガイド内容の充実

【観光案内所・案内の充実】



- ・多様なニーズに対応する機能充実
- ・携帯端末を使った案内システムの構築
- ・情報の多言語対応

【多様な周遊手段の整備】



- ・レンタサイクルの市町村間の連携
- ・循環バスの運用（ルートや時刻設定等）

【古墳群と地域魅力の情報発信】



- 主要駅等におけるPR
- ホームページ、情報誌等による情報発信
- 関連するイベントや催し物等の発信
- 鉄道会社とタイアップした情報発信

【地域協働イベントの開催】



- 古墳や歴史文化資産等を楽しみながら理解を深める機会の提供
- 古墳に関連する内容を中心としたイベントの開催
- 地域と一体となった取り組み（産・学・官・地元）

【ブランドイメージの確立】



- 地域の盛り上がりのきっかけとなる仕組みづくり
- 地域と一体となった取り組み（産・学・官・地元）
- ブランドイメージに沿った取り組み

【周遊コースの魅力向上】



- ウォーキングコース、サイクリングコースの設置
- 古墳や周辺の歴史文化資産、地元につながる伝説等を物語として組み立てた演出
- 周遊ルート沿いでのおもしろ空間の創出



【何度も訪れたい仕掛けづくり】

- 年齢や性別、人数等、ターゲットに応じた多様な観光プランの企画・提案
- 「食」などのテーマ性のある観光プランの企画・提案
- 「古墳の日」などの記念日の設定とそれに合わせた恒例イベントの開催
- 学生主体で運営する店舗等（近隣の大学との連携）
- 写真コンクール、絵画コンクールの開催

【地域特産品や観光メニューの育成・開発】



- 地域特産品を「百舌鳥・古市古墳群ブランド」として育成
- 体験型観光メニュー（埴輪づくり等）の開発
- 都心部の集客拠点での地域物産展の開催
- 古墳関連グッズ（土産物等）・フードメニュー（弁当等）の充実

【周辺の歴史文化遺産との連携（竹内街道、寺内町、環濠地区等）】



- 竹内街道等の歴史街道と周辺観光資源や文化施設を連携した周遊ルートの設定（既存の観光ツアーの活用を含む）
- サイクリングを楽しめるルート設定
- 周遊ルートを一層魅力的にするようなガイド付きツアー企画

【他の世界遺産との連携】



- 関西の世界遺産（吉野、高野山等）と直接結ぶ企画列車の運行
- 観光ツアー・周遊切符の企画
- スタンプラリーの実施